

篠ノ井高等学校 定時制だより

～ 自分らしくいられるために ～ 令和6年5月

令和6年度スタート

新任式・始業

4月4日（木）

令和6年度新任式と1学期始業式が行われました。県教育委員会国民スポーツ大会準備室より山本臣也教頭先生（保体）、長野東高校より桑原俊樹先生（保体）、嶋田多希先生（国語）をお迎えいたしました。また、1学期始業式では新津志保美校長先生から、令和6年度のスタートにあたり講話があり、令和6年度篠ノ井高校定時制がスタートしました。



祝入学 定時制入学式

4月5日（金）

令和6年度入学式が行われ、18名（男子6名、女子12名）の新入生が入学しました。

入学式は全日制と一緒に大体育館で行われ、式のあとは、教室で定時制教頭、定時制教育振興会の岡澤慶澄会長、1年生担任の桑原俊樹先生から挨拶があり、みんな緊張の中にも温かい雰囲気、高校生活をスタートしました。



対面式・生徒会「歓迎交流会」開催

4月8日（月）

生徒会行事である対面式が行われました。視聴覚室に新入生から4年生まで全員が集まりました。各委員長から篠ノ井高校定時制の委員会について説明があり、その後、交流会が開催され、学年入り混じりグループに分かれて「風船送りリレー+うちわ」と「輪投げ」のゲームを楽しみました。ゲームは、チームワークが試され、みんなで工夫をしながらゲームを追求しチャレンジします。上級生のリードで新入生の緊張もほぐれて交流を深めた結果、定時制の全学年にまとまりがうまれた瞬間でした。



定時制生徒の活躍本格的に



生徒総会

4月11日（木）
毎年、年度当初恒例の「生徒総会」が行われました。生徒会長の挨拶に続き「篠竹祭」「選挙管理」「会誌編集」「交流会」「体育」「校外学習」「整美」の各委員長から令和6年度の活動計画と予算の提案があり、全員に認められ4年生・3年生を中心に皆で篠ノ井高校定時制の生徒会作り上げて盛り上げていきます。



総合的な探吸究な時間

篠ノ井高校の定時制といえば「総合的な探究の時間」といわれるほど、伝統的に活発に行われています。今年も「ミニ探究」「探究1長野県に関する探究」「探究2私の提案」「生活体験発表会」「生徒会誌若鮎原稿」と盛りだくさん。今年の「ミニ探究」のテーマは『私が注目している人』と『私が注目していること』です。生徒はどちらかを自ら選択し探究とは何をする事なのかの理解し、次の探究

1で探究に親しみ、最後の探究2で深め、プレゼンテーション能力を身につけます。



北信定時制通信制総合体育大会 開催

5月18日（土）

令和6年度高等学校定時制通信制総合体育大会の北信大会が中野立志館高校を会場に行われました。この大会のバドミントン種目に、本校の生徒1名が出場しました。男子は4年丸山拓海さん（川中島中学出身）が出場して県大会出場決定戦で惜敗してしまいましたが、最後まであきらめない姿勢を貫き通しました。今大会は、男子19名、女子13名が参加してどの試合も熱戦が繰り広げられました。



春季体育大会 開催



5月23日（木）

令和6年度定時制の春季体育大会が開催されました。桑名生徒会長の「怪我をしないように、楽しみましょう。」との挨拶で競技がスタートしました。今年の競技は『ビーチバレーボール』、学年ごと9チームを編成して、予選リーグを行い、予選リーグの結果で決勝トーナメントを行いました。決勝戦は4年生Aチームと1年生Bチーム、白熱の大接戦は1年生が予選リーグからの勢いで、粘る4年生の猛追を退け優勝しました。「ワンチームの定時制」が更に強く一つになった学校行事となりました。

